

【南アルプスに昇る朝日】

目 次

●年頭所感	2
●放射線治療棟新築とリニアック更新	3
●ねっとわーく	
すずおか内科クリニック	4
飯田山本クリニック	5
●勤労者まつりに参加	4~5
●里帰り分娩初回健診時期変更	6
●話題の広場	6
長野県総合防災訓練	
●周産期救急に関する研修について	7
●飯田市立病院 ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム	7
●情報パプセル	8
冷え性には漢方薬！	
●職場紹介	8
3階東病棟（地域包括ケア病棟）	

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- ①私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- ②私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- ③私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- ④私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- ⑤私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

年頭所感



飯田市立病院 院長
堀 米 直 人

新たな年を迎えるにあたり謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、政治に関する話題や、大企業の品質管理に関する不祥事、平成29年の漢字に選ばれた「北」など、社会の信頼を揺るがすような出来事が多かったように思います。また、天皇陛下が来年4月30日に退位されることが決まりました。

平成から新しい元号に変わりますが、当院も平成4年に現在の場所へ移転し、平成の時代とともに成長してきました。今年は平成の30年間をふり振り返り、次の時代をどのようにしていくか考えながら過ごしていきたいと思っています。

さて、この4月には診療報酬と介護報酬の同時改定が行われますが、第7次医療計画と第7期介護保険事業計画もスタートし、2018年は“惑星直列の年”とも呼ばれています。団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となる2025年を節目に、その先に向けた大きな改革のスタートとの位置づけです。

医療と介護の連携や地域包括ケアシステムの構築は日本全体の課題です。当院が高度急性期や急性期機能を中心に地域内の医療機関と連携して地域医療を守っていく方向性に変わりありませんが、地域包括ケアシステムの構築に向けて、昨年12月から1病棟を地域包括ケア病棟として運用開始しました。

当院で手術を行った後、地域内の病院に転院してリハビリをされる患者さんについては、今までどおり地域内連携による治療をお願いしていきませんが、当院から直接自宅へ戻られる患者さんについて、退院までもう少し準備期間が欲しいというご要望に応えられることを目指しています。また、当院で治療し自宅へ戻った後、症状が悪化した場合に再度入院をするといった場合にも対応する病棟と考えております。

もうひとつ、大きな話題として働き方改革があります。長時間労働や非正規労働者の問題を背景に国全体で改革が進められていますが、医療界でも医師の働き方改革に関する検討が始まっています。

今後示される方針により見直しを行っていかねばなりません。病院スタッフには365日、24時間の対応が求められておりますし、医療の質向上には自己研鑽のための時間も必要です。病院スタッフの健康を守りつつ、地域医療を守るような検討が進むよう注視しています。

3月からは最新の放射線治療装置（リニアック）による治療が開始されます。地域がん診療連携拠点病院として各分野で今まで以上にレベルの高い治療を目指していきます。

周産期医療について、里帰り出産を含め当地域の分娩は当院が担っていますが、健診や産後のケアは地域内の医療機関と連携して行っています。より正確な情報の共有化を図るため、地域連携型の周産期システムを導入し、地域全体で安心して分娩できる態勢をつくっていきたく考えます。

本年も、診療の充実を図り、当院の基本理念である「地域の皆さんの健康を支え 信頼される医療の実践」に向けて取り組んでまいりますのでご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



新しいリニアックの本体です。
最新型の治療装置です。



放射線治療棟新築と リニアック更新



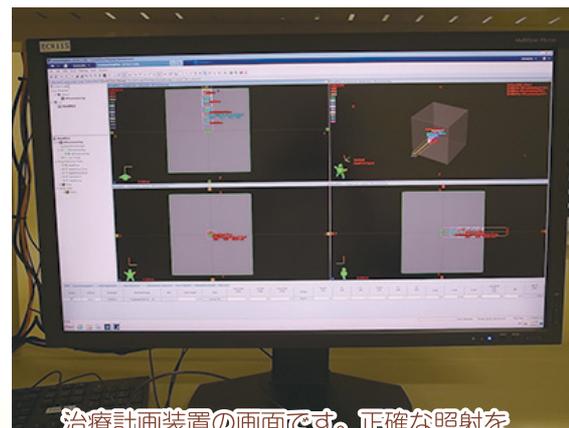
治療計画用CTです。全ての治療計画はこの装置で撮影した画像を元に立てられます。



受付からみた待合です。まだ椅子はありませんが、患者さんにゆったりとお待ちいただける広さを確保しました。



リニアックの操作部です。



治療計画装置の画面です。正確な照射をコントロールします。

2016年11月から工事を行ってきた放射線治療棟が、2017年8月に完成しました。引き続き治療装置やCT、治療計画装置の搬入も完了して現在は装置のデータ測定や調整（コミッショニングと呼ばれる過程）を行っています。

新たな放射線治療装置は病巣への線量集中性に優れ、これまで以上の治療成績をあげることが期待されます。私たちスタッフは、現在、新装置の研修に励んでいます。稼働は2018年2月を予定しておりますが、ミスは許されない（医療は皆そうですが）ので慎重を期しております。今しばらくお待ちください。春は近い！



すずおか内科クリニック

(飯田市駄科)



地域に根差した医療をめざして

すずおか内科クリニック 院長 横田 昌

すずおか内科クリニックは2012年3月開設の内科診療所です。飯田市駄科、鈴岡城址近くにあるのでこの名前をお借りしました。開院後あっという間に6年が経ってしまいました。龍江や竜丘地元はじめ遠方からも様々な疾患を抱えた方が見えます。地域に根差した医療を目標に内科一般を中心にした診療を行っていますが、専門である血液内科も可能な範囲で診療しています。慢性骨髄性白血病や多発性骨髄腫等の血液腫瘍も診断から治療まで行っています。しかし、当クリニックが担当できる診療内容には限度があります。病院に

限らず、診療所や医院と連携を取り、きめ細かい医療を行うように努めています。病状や年齢にあった医療機関をご紹介しますのも大切な仕事と考えています。

一方、通院の便や病状により在宅での療養をご希望される方も多く、定期的にご自宅を訪問しての診察も行っています。癌の末期、老衰など最期をご自宅で過ごされる方やご希望のある方には、定期的な訪問診療の他、電話や臨時往診対応も24時間させていただきます。

医療費の削減が迫られる中、高齢化が進む医療過疎地域において少しでもお役に立てるよう日々診療をさせていただいております。



横田先生

所在地 〒399-2561 飯田市駄科1285-1

☎0265-48-5222

診療科目 内科、血液内科

診療時間 9:00~12:00 / 14:30~18:00

休診日 金曜日 日曜日・祝日

往診 可

駐車場 あり



勤労者まつりに参加、糖尿病予防啓発を行いました

11月23日に飯田勤労者福祉センターを会場に「第20回勤労者まつり」が行われ、当院を含め飯伊地域の8医療機関で構成する飯伊糖尿病連絡会が、糖尿病予防啓発を行いました。

この活動には例年、飯田下伊那臨床検査技師会にご協力いただいておりますが、更に今年は飯田下伊那歯科医師会にもご協力いただき、歯周病予防をテーマに加えました。このコーナーでは、DVDを使ったわかり

やすい歯周病予防の解説や歯の模型を使った歯磨き指導などが行われました。

『1日に必要な野菜の量をはかってみよう』というコーナーでは、緑黄色野菜、淡色野菜をそれぞれ実際に容器に取って量ってみる体験ができ、1日に必要な野菜量を体感していただきました。その隣では、計ったばかりの野菜量を参考にして、管理栄養士による栄養相談が行われました。

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

私は1965年、飯田市大瀬木に生まれました。山梨医科大学（現 山梨大学）卒業後、腎臓内科を主に研修したのち、2005年 栗山会飯田病院に内科医として着任しました。2010年橋上好郎先生の橋上クリニックを継承する形で、飯田山本クリニックとして開業いたしました。開院してからお陰様で早くも8年目に入りました。この間、なんとか診療できているのも、当院に通院して下さる患者様と、飯田市立病院を始めとした、病院の先生方のバックアップのおかげだと、とても感謝しております。これからも御迷惑をおかけする

飯田山本クリニック

(飯田市山本)



医療機関に受診するときは、お薬手帳を是非お持ちください

飯田山本クリニック 院長 萩野下 丞

こともあるかとは思いますがよろしくお願いたします。

高齢化社会において、複数の診療科に受診している患者様も少なくなく、そういった患者様が当院や休日夜間急患診療所などの医療機関に緊急で受診することもあるかと思ます。そういったときに、お薬手帳があると、飲み合わせの悪い薬の処方や、似たような効能の薬の重複投与などが避けることができ、

更に診療時間がかなり短縮できます。保険証とお薬手帳はセットで普段から所持して下さることは是非ともよろしくお願いたします。



萩野下先生(前列中央)とスタッフの皆様

- 所在地 〒395-0244 飯田市山本3205
☎0265-25-5110
- 診療科目 内科
- 診療時間 9:00~12:00 / 15:00~18:00
- 休診日 水曜日、土曜日午後 日曜日・祝日
- 往診 可
- 駐車場 あり



また、連絡会構成病院の看護師による血圧測定、飯田下伊那臨床検査技師会による血糖測定も行われており、その数値を基に医療相談コーナーで直接、医師に相談することができました。曇天にもかかわらず今年も多くの来場者があり、好評でした。

飯伊糖尿病連絡会

- 飯田病院 ○輝山会記念病院
- 下伊那厚生病院 ○健和会病院 ○県立阿南病院
- 下伊那赤十字病院
- まるやまファミリークリニック ○飯田市立病院



きれいに磨けるかな？



1日に必要な野菜の量ってどのくらいかな？

里帰り分娩初回健診時期変更のお知らせ

里帰り分娩初回健診の時期を、次のように変更いたします。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

1. 里帰り分娩の方の初回健診時期の変更点

変更前：20週から23週で当院受診 → 変更後：32週で当院受診（32週以降は当院を受診）

* 飯田下伊那地域在住の方の初回健診時期に、変更はありません。

2. 変更時期

平成30年6月分娩予定者の初回健診時より

3. 申込方法

1. 分娩予定日が確定したら早めに電話で申し込み。
平日 8:30から17:00 地域医療連携係 電話0265-21-1255 内線2237
2. 居住地の医療機関の健診を受ける。
3. 分娩予定月6ヵ月前に、初回健診申込書を当院から郵送する。
4. 初回健診申込書に第3希望日まで記入し当院へ返送する。
5. 初回健診ご案内通知を当院から郵送する。
6. 診療情報提供書(紹介状)は、初回健診日の3日前までに当院地域医療連携係宛に郵送する。
(居住地の医療機関での諸検査データも全て含む最終健診時までの診療情報提供書。)
7. 妊娠32週を目安に初回健診を受ける。



長野県総合防災訓練

11/5



11月5日に長野県総合防災訓練が飯田市で実施されました。

飯田下伊那地域の災害拠点病院に指定されている飯田市立病院も訓練会場となり、最大規模の災害対応訓練を実施しました。訓練には、消防・信州ドクターヘリ・自衛隊・県内災害医療派遣チーム（DMAT）などの参加だけでなく、飯田女子短期大学から学生さんに模擬患者役として参加いただきました。

訓練は「飯田下伊那地域で大地震が発生した」想定とし、実際の災害対応の流れ（①災害対策本部の

設置と職員の緊急参集 ②院内の安全確保 ③多数のけが人の受け入れ準備 ④けが人の診療と収容困難な場合の地域外への搬出）に沿った訓練を行いました。

女子短期大学の学生さんが真剣に演じる40名の模擬患者が、一度に病院に運ばれてくる状況に対して、病院では、症状の重さで診療の順番を決める「トリアージ」を行い、重症者から治療を実施する訓練を実戦さながらに実施しました。病院のスタッフの不足に対しては、長野県内DMATの支援を受け、収容能力を超えたけが人については、消防・自衛隊の救急車、信州ドクターヘリ、DMATドクターカーを使用して、被災地外の病院への搬送も実施しました。

飯田市立病院では、今回の訓練で明らかになった課題に対して、院内の災害対応を強化するだけでなく、関係機関との連携も強化できるように準備を進めてまいります。また、被災後の病院機能を早期に復旧できるようBCP（業務継続計画）の策定も進めてまいります。

周産期救急に関する研修について

当院は地域周産期母子医療センターとして、その役割の1つである周産期医療に携わる医療者が母子に対して急変時に対応できるよう周産期救急に関するシミュレーション研修を開催しています。開催している研修はALSO^{*1}プロバイダーコース、BLSO^{*2}デモンストレーションコース、J-CIMELS^{*3}ベーシックコース、NCPN^{*4}専門コースです。ALSO・BLSO・J-CIMELSは母体急変を察知し、効果的に対処するためのシミュレーションコースです。BLSOは病院外における周産期医療対応のため、主に救急救命士などが受講対象のコースとなります。NCPNは新生児蘇生のシミュレーションコースです。これらの研修は母子における様々な状況下での急変に対してシナリオを設定し、チーム医療として対応できるようシミュレーション訓練をしています。当院の周産期センターのスタッフだけでなく、長野県内外から周産期医療に携わる医療者がこれらの研修を受講しています。また当院の産婦人科医師や助産師がインストラクターとして活動しています。



赤ちゃんへの人工呼吸の訓練（NCPN専門コース）

- *1 ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) 周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コース
- *2 BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) 病院外・病院前での妊産婦救急を想定した、産科に関する基礎的な教育コース
- *3 J-CIMELS 日本母体救命システム普及協議会
- *4 NCPN (Neonatal CardioPulmonary Resuscitation) 新生児蘇生法

飯田市立病院 ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム

看護師は、人々のQuality of Life（生活の質）を維持・向上させ、患者の尊厳ある人生の最期を支えとともに家族に安心を与えるという重要な役割を担っています。

そのため飯田市立病院では、2016年からELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムを開催しています。ELNECは、エンド・オブ・ライフ・ケア（病いや老いなどにより、人が人生を終える時期に必要なとされるケア）や緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力修得のための教育プログラムです。

第1回目は2016年12月3日～4日に開催し23名（院内4名）が参加、第2回目は2017年9月30日～10月1日に開催し18名（院内2名）が参加されました。

病院看護師だけでなく、診療所や施設の看護師、訪問看護師などが学んでいて、毎回修了者から高評価を頂いています。修了者は様々な現場で学んだことを活かした看護実践してくれていると思います。

今後も地域の皆様により質の高い看護が提供できるように教育を継続していきます。



グループワークの様子



冷え性には漢方薬！

足が冷えてよく眠れない、冷房にあたるとすぐに体調を崩してしまうといった悩みはありませんか？ 体温の変化はないけれど、何となく体の芯が冷える、しびれのような冷えの感覚がある。これが冷え性の症状です。冷え性の治療は漢方医学の得意とするところであり、漢方薬が広く用いられています。

漢方医学には「気・血・水」という概念があり、冷え性の原因はこれらの異常によって起こると考えられます。具体的には、血が足りない状態（血虚）、血がとどこおっている状態（お血）、水分がたまっている状態（水毒）、気が不足している状態（気虚）などがあります。これらの状態、冷えの部位、その他の症状を考慮して漢方薬を選びます。「温性」の生薬（当帰、川芎、人参、桂皮）、「熱性」の生薬（附子、乾姜）を含む漢方薬を使用します。

冷え性対策として、生活習慣を見直すとともに漢方薬を使用してみたいかがでしょうか。（薬剤科）



シリーズ ● 職場紹介 ● その55

【3階東病棟(地域包括ケア病棟)の紹介】

3階東病棟は、2017年12月より地域包括ケア病棟として編成しスタートしました。急性期治療を終え、病状が安定した患者さんが、在宅復帰に向けてリハビリテーションや介護サービスの調整を行い、安心して退院していただくことを支援する病棟です。機能として急性期治療から移行された方を対象としたポストアキュートと、在宅療養中で一時的に入院を必要とする方を支援するサブアキュートがあります。

担当医、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーなど多職種が患者さんや家族と協力し、在宅療養に向け相談や準備を行います。病棟では退院後の生活を視野に入れ、入院生活を過ごしていただきます。ベッドを離れて活動できるよう、病棟内にリハビリや食事ができるスペースを設けています。看護師は日常生活動作の1つ1つをリハビリと考え、「時間が

かかっても自分でする」という自立意欲を持っていただくために、「見守る」「助言する」ことを心がけていきます。今後はかかりつけ医や地域の皆様と連携し、在宅生活のお手伝いができますよう、スタッフ一丸となり支援させていただきたいと思えます。



あ と が き

年が改まる毎に病院も変化しています。職場紹介では昨年12月から運用開始となった地域包括ケア病棟を取り上げました。春には新築となった放射線治療棟（リニアック棟）での診療が開始される予定です。新たな歩みを伝える新年号となりました。本年も宜しくお願い致します。 編集委員 中村 喜行